

2020 年度

福井県立武生高等学校

同窓会

治 革

(旧制 県立武生中学校)

明治31年 3 月 1 日 福井県立武生尋常中学校創設
 明治32年 4 月 1 日 福井県武生中学校と改称
 明治34年 6 月12日 福井県立武生中学校と改称

(旧制 県立武生高等女学校)

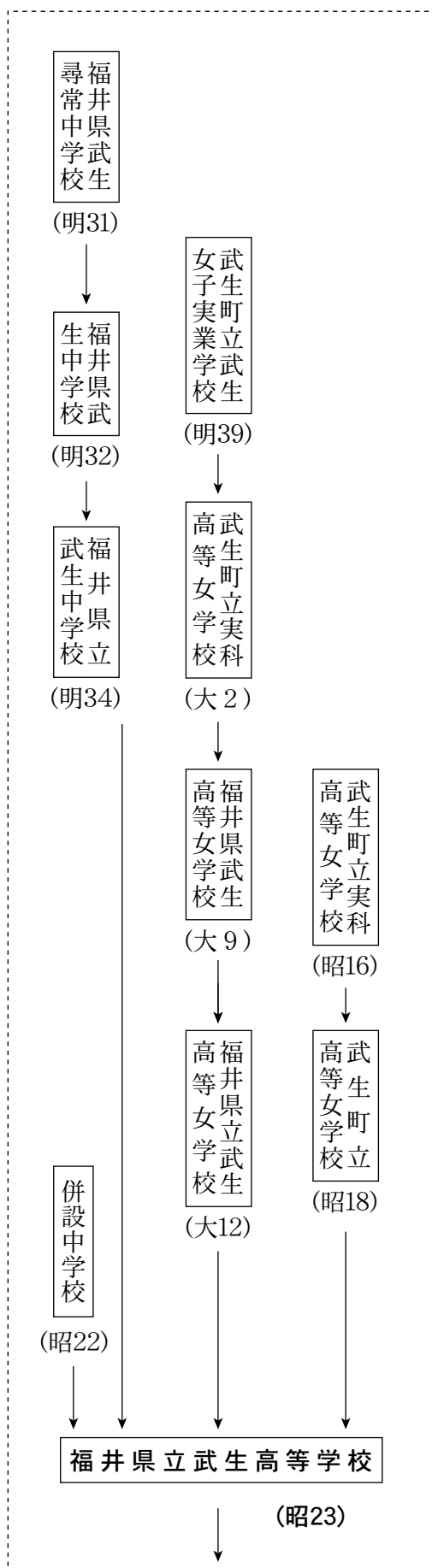
明治39年 6 月 9 日 武生町立武生女子実業学校創設
 大正 2 年 2 月27日 武生町立実科高等女学校と改称
 大正 9 年 3 月10日 福井県武生高等女学校と改称
 大正12年 4 月 1 日 福井県立武生高等女学校と改称

(旧制 町立武生高等女学校)

昭和16年 4 月21日 武生町立実科高等女学校認可
 昭和18年 4 月 1 日 福井県武生町立高等女学校と改称

(福井県立武生高等学校)

昭和23年 4 月 1 日 学制改革により福井県立武生中学校、
 福井県立武生高等女学校、福井県武生
 町立高等女学校を統合し、福井県立武
 生高等学校に改組し、普通・家庭・商
 業・工業の4課程を設定
 定時制（本校・池田分校・今庄分校
 および栗田部分校）を併設
 昭和30年 4 月 1 日 新校舎第1期工事完成、現在地に移転
 昭和34年 4 月 1 日 工業課程は武生工業高等学校として
 分離独立
 昭和35年11月 1 日 新校舎工事完成、落成式挙行
 昭和38年 5 月 8 日 プール開き挙行
 昭和40年 4 月 1 日 武生商業高等学校新設に伴い商業科
 募集停止
 昭和40年 4 月 1 日 定時制池田分校は全日制池田分校となる
 昭和40年 5 月30日 第二体育館落成式挙行
 昭和42年10月30日 生徒指導実験学校研究発表会を行う
 昭和43年11月 1 日 創立70周年記念式を行う
 昭和44年 4 月 1 日 理数科設置
 昭和44年 7 月19日 創立70周年記念館落成式
 昭和53年11月 1 日 創立80周年記念式を行う
 昭和55年12月23日 普通教棟改築、鉄筋校舎完成
 昭和57年11月24日 特別教棟改築、鉄筋校舎完成
 昭和59年 3 月31日 音楽教棟完成
 平成 3 年 3 月31日 本館・第1体育館リフレッシュ工事、
 正門並びにシンボル・ガーデン完成
 平成 4 年 1 月31日 定時制教棟改築着工
 平成 4 年10月31日 定時制教棟完成
 平成 5 年 3 月20日 弓道場完成
 平成 5 年12月27日 第2体育館リフレッシュ工事完成
 平成 7 年 4 月 1 日 定時制課程単位制設置
 平成10年11月 1 日 創立100周年記念式を行う
 平成10年11月 6 日 葵講堂完成
 平成12年 3 月31日 生徒会館（記念会館）リフレッシュ工事完成
 平成15年 2 月10日 第1教棟耐震補強工事完成、第1体育館
 改築着工
 平成15年10月31日 第1体育館完成
 平成18年 2 月14日 第2体育館完成
 平成20年 4 月 9 日 平成20～24年度、文部科学省からスーパー
 サイエンスハイスクールの指定を受ける
 平成25年 4 月 1 日 平成25～29年度、文部科学省からスーパー
 サイエンスハイスクールの指定を受ける
 平成30年 4 月 1 日 平成30～34年度、文部科学省からスーパー
 サイエンスハイスクールの認定を受ける
 令和 2 年 3 月31日 池田分校閉校
 令和 2 年 4 月 1 日 探究進学科設置



武生中学校校歌

作詞 堀井 磊

一、
越智の高嶺の彼方には

波幾千里日本海

翼の空に仰ぎ見る

御嶽の山は巍峨として

その秀嶺の影ひたす

日野の流れの清きかな

二、
星霜経りし国府の跡

功は高き藤垣や

三つの川水治めけむ

君味真野の宮所

杣山松を吹く風は

忠義にはやる矢叫びか

三、
栄ある歴史偲びつゝ

紫明の天地ながめつゝ

心武生の学舎に

知徳をみがく五春秋

朝日とのぼる向上の

誰百難に屈せむや

四、
赤帝焰を息吹く時

熱球宙を飛ぶところ

朔風雪をふぶく時

竹刀火花の散るところ

血潮はわきて青春の

男児の腕高鳴れる

五、
嗚呼東海に覇を唱ふ

国をになはむ任重く

母校の誉世の光

かゞやかすべき南越の

健児はわれぞ芳ばしく

咲かむ万朶の山桜

武生高等女学校校歌

御歌所寄人 鳥野幸次先生校閲

作詞 清水政之

一、男大迹の皇子のおはしけむ

ゆかりたふとき道の口

武生の国府と名に立ちて

文化の花も先づ咲きし

昔の跡に開けたる

まなびの園の名もよしや

二、忠義に燃ゆる杣山の

紅葉の色をかざしにて

越前富士に積む雪の

清きを己が心にて

日野の川波絶えずのみ

勉め励まんいざやいざ

三、後の宮の詠みましし

御歌の意かしこみて

人の中にもをみなたる

道の誠をみがきつつ

家を身をもとのへて

千代の鏡と仰がれむ

福井県立武生高等学校校歌

作詞 佐藤春夫

作曲 大中寅二

一、都に遠く雲閉す

日野の盆地と云ふ勿れ

山河穢れず人怜く

若人の夢みな清し

二、武生の国府とうたはれし

代々の文化のあとを見よ

史上に残る名に富むを

郷土のほまれ誰か継ぐ

三、味真野の子や丹生の子の

学びに集ふ二千人

校舎あかるく庭ひろく

朋友師弟 睦しき

四、いかにか生くと人間はば

我は明朗自律の児

まことを求め道に生き

世に尽さんと答へまし



ご挨拶

前同窓会会長 三田村 俊 文

新緑の候、武生高等学校同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本来であれば、例年の通り、多数の皆様にお集まりいただき、同窓会総会を盛大に開催すべきところではありますが、ご承知の通り、新型コロナウイルス感染症拡大を防止すべく、大変残念ではありますが、令和2年度の同窓会総会、懇親会は中止といたしました。

本年度の総会準備にあたり、実行委員長 宮本 俊様をはじめ昭和58年卒業の方々を中心に、関係各位のご尽力をいただいたことに深く感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症拡大により、影響を受けている皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、このような状況の中で、医療従事者の方々をはじめ、社会インフラ維持のために感染リスクと闘いながら、職務を全うされている皆様に心より御礼申し上げます。

生徒の皆さんは、2月から長期に渡り休校となり、不安な気持ちを抱えながら、在宅にて勉学に勤しんでこられたと思います。また教職員の皆様も、自宅で過ごす生徒の皆さんのためにと、ITの活用等、様々な方法で在宅学習や心身のケアをされてこられました。6月に入り、学校はようやく再開しますが、遅れた授業内容をどこまで取り戻すのか、夏休み等休暇の対応をどうするのか、9月開校の議論がなされるなど、これまで誰も経験したことのない事象が続いていきます。どうか学校一丸となって、この難局を乗り越えていただきたいと心より願っております。

さて、この度小生は同窓会会長を退任することにいたしました。顧みますと、平成12年（2000年）5月に会長に就任して以来、早や20年が経過いたしました。その間、同窓会は東海支部の設立、松柳会の解散などを経て、今日に至りました。学校では、池田分校の閉校、定時制（夜間）の廃止や丹南地区再整備による探究科発足が思い出されます。まずは、生徒、父兄一丸となって、学校発展のためにご協力をいただいたお陰で、今日の隆昌を迎えることが出来ましたことを心より喜んでおり、皆様に厚く御礼申し上げます。これからは、新しく就任された玉村会長を中心に、同窓会の更なる発展のために、引き続きご協力賜りますようお願いいたします。

長い間のご支援に感謝申し上げますと共に、武生高校及び同窓会の益々の発展を祈念して、お礼の挨拶とさせていただきます。



同窓会会長就任ご挨拶

同窓会会長 玉 村 一 男

同窓会の皆様

この度、私は同窓会理事会のご承認を得て、三田村俊文会長の後任として令和2年度より同窓会の会長に就任致す事となりました。122年の歴史と伝統ある武生高校の同窓会は、歴代の会長を始め多くの理事役員の皆様、各支部役員の皆様、同窓生の皆様、教職員の皆様方のご尽力により築かれて参りました。それを思いますとその職責の重さに身の引き締まる思いであります。浅学菲才ではありますが、諸先輩を始め皆様のご協力を頂いて同窓会の更なる発展に全力を尽くして参る所存です。何卒宜しくお願い申し上げます。

三田村俊文前会長は、10期20年の長きに亘り同窓会の発展に多大なるご尽力をされました。三田村俊文様には同窓会一同、心から敬意を表しますと共に深く感謝を申し上げる次第です。また引き続き同窓会顧問としてご指導頂きます。宜しくお願いします。

本来ですと、同窓会総会で会員の皆様にご挨拶申し上げるところでございますが、本年は新型コロナウイルス感染禍により、理事会の承認をもって総会の承認とすると云う異例の事態でありましたので、このようなご挨拶となりました。

本年の同窓会総会は、宮本俊様を委員長とする昭和58年卒の同窓生の実行委員会の皆様により企画されておりました。しかしながらこの新型コロナウイルス感染拡大防止の為、総会、懇親会の中止を余儀なくされ、綿密な準備されていた委員会の皆様方は残念な思いであった事と存じます。私ども同窓会としても年に一度の会員の交流の場として、会員の皆様とお会いするのを楽しみにしていましたので残念至極であります。実行委員会の皆様、誠に有難うございました。

緊急事態宣言に伴い本校の始業も6月からとなり、教育現場もタイトな授業スケジュールを強いられていると存じます。初めての事象だけに学校教育現場はさぞかし労苦が多い事と思います。同窓会としてもできることがあれば何でもお手伝い致します。また少子化に伴い県立高校の統合も進み、丹南地区では令和2年度より武生商工高校の誕生（武生工業高校と武生商業高校の統合）、丹南高校の鯖江高校への統合がありました。武生高校におきましても池田分校閉校、理数科募集停止、探究進学科新設と大きな変化がありました。同窓会としても武生高校が新しい時代に先駆けた高校にならん事を期待しています。

最後になりましたが、同窓会、会員相互の交流や親睦活動が活発になりますよう、そして会員の皆様のご健勝、ご発展を心よりご祈念申し上げ、就任のご挨拶と致します。



ご挨拶

学 校 長 田 中 宏 明

向暑の候 武生高等学校同窓会の皆様におかれましては、未曾有の惨禍の中、難局に立ち向かわれていることと存じます。本年度の総会開催に向けて、実行委員長 宮本 俊 様をはじめ昭和 58 年卒業の方々を中心に関係各位のご協力の下、準備を進めていただきました。世界的な災禍の中、残念ながら開催を見合わせざるをえませんでした。これまでたいへんご尽力を賜りましたことに心から深く感謝申し上げます。

昨年度 3 月には、昭和 23 年に創立され 2101 名の卒業生を輩出してきた池田分校が閉校になりました。コロナウィルス感染拡大防止のため、予定されていた大同窓会は開催できませんでしたが、閉校式は厳粛に挙行され、池田分校旗が県教育委員会に返納されました。地元池田町の方々に愛され、教師と生徒が一体となって育んできた「日本の学校の原風景」とも言える池田分校の 71 年の歴史に幕を下ろしました。

さて、本校の現状について、申し添えます。現在、全日制には 942 名、定時制には 134 名の合計 1076 名の生徒が在籍しています。昭和 44 年に創設されました理数科は昨年度末から募集を停止し、新たに探究進学科が設置されました。多様な探究活動と海外研修を実施し、高いレベルの学力を育成することにより、難関大学・医学科を目指す新学科に、今春 76 名が入学しました。

勉学と部活動を両立する姿勢は継続しており、今春の進学実績としては、国公立大学に、昨年度に比べて 10 名増加し 227 名が合格しました。部活動では、山岳部が、男子・女子ともに新人大会で団体優勝し、女子ソフトテニス部も春季総体で 3 位入賞しています。また、囲碁部、将棋部、放送部、百人一首・かるた部が個人の部で全国大会に出場しています。

本年度については、全国大会や地方ブロック大会だけでなく、県大会についてもほとんどが開催中止になっています。純粋な情熱を部活動に注いできた生徒たちが集大成の舞台を失った無念さは察するに余りあり、哀惜の念に堪えません。

また、3 月から約 3 ヶ月間にわたり、休業を余儀なくされました。この間、オンラインでの授業や動画の配信などにより、家庭学習を支援しましたが、今後、授業を補うために、夏休みを短縮し、学校行事を中止あるいは縮小することを予定しています。

このような厳しい状況の中で学校を再開することになりましたが、登校してくる生徒の穏やかな笑顔と前向きな姿勢に気持ちが救われています。全国屈指の名門校の伝統の中で培われた内面の強さが、このような事態においても発揮されることを改めて痛感しています。

最後になりますが、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、同総会のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈りしまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和元年度 事業経過報告

会計監査

4月10日（水） 武生高校葵講堂 会議室

第1回 役員会・理事会

4月19日（金） ホテルクラウンヒルズ武生

- （1）平成30年度事業報告
- （2）平成30年度決算報告・会計監査報告
- （3）令和元年度事業計画案
- （4）令和元年度予算案
- （5）その他

懇親会

同窓生講演会

5月24日（金） 武生高校葵講堂 ホール 対象生徒：2年生

演題 「なぜ、映画『カメラを止めるな！』は大ヒットしたのか？」

講師 株式会社 ENBU ゼミナール 代表・プロデューサー

市橋 浩治 氏（昭和57年卒）

2019年度 総会

5月25日（土） ホテルクラウンヒルズ武生

- （1）平成30年度事業報告
- （2）平成30年度決算報告・会計監査報告
- （3）令和元年度事業計画案
- （4）令和元年度予算案
- （5）その他

特別講演

演題 「『カメラを止めるな！』～成功の裏側と地域活性化のヒント～」

講師 株式会社 ENBU ゼミナール 代表・プロデューサー

市橋 浩治 氏（昭和57年卒）

パーティー・懇親会

池田分校閉校イベント

8月17日（土） 池田分校

第40回 石川県支部総会

9月28日(土) 武生高校 他

総会 ・支部活動報告 ・支部会計報告 ・その他

母校を訪ねて～故郷への日帰りバスツアー～

・葵講堂、校舎内見学

・越前市内観光地見学

第14回 関西支部総会

10月19日(土) 道頓堀ホテル

・活動報告、収支報告、監査報告

・役員委嘱

・記念講演

演題 「福井県年縞博物館と年縞」

講師 福井県年縞博物館 学芸員 長屋 憲慶 氏

・懇親会

第2回 役員会・理事会

10月25日(金) ホテルクラウンヒルズ武生

令和2年

同窓会報発行 2月27日(木)

全日制卒業式 3月2日(月)

定時制卒業式 3月3日(火)

池田分校卒業式・閉校式 3月14日(土)

令和元年度 武生高等学校同窓会会計 収支決算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

一般会計

【 収 入 】

単位:円

項 目	令和元年度予算	令和元年度決算	比較増減	備 考
繰 越 金	1,183,804	1,183,804	0	
入 会 金	1,125,000	1,077,000	△ 48,000	全日314, 分校10, 定時制35(1名3,000円)
雑 収 入	196	15,009	14,813	お酒代、預金利息
寄 付 金		250,000	250,000	S57年卒 実行委員会より
合 計	2,309,000	2,525,813	216,813	

【 支 出 】

項 目	令和元年度予算	令和元年度決算	比較増減	備 考
会 議 費	150,000	137,534	△ 12,466	理事会(4月、10月)
旅 費	250,000	164,077	△ 85,923	旅費・懇親会等(関西)、支部来福旅費等
消 耗 品 費	5,000	3,233	△ 1,767	理事会用封筒、名札用ラベル、コピー用紙
通 信 費	150,000	108,992	△ 41,008	電話料、郵送料、葉書、インターネット利用料等
慶 弔 費	20,000	0	△ 20,000	
事 務 費	20,000	20,000	0	事務手当
支 部 補 助 費	330,000	322,500	△ 7,500	関東・関西10万、石川・東海5万、分校5,000、定時17,500
母 校 振 興 費	10,000	0	△ 10,000	
積 立 金	400,000	400,000	0	特別会計(定期預金)へ
予 備 費	974,000	50,000	△ 924,000	記念会館補助
合 計	2,309,000	1,206,336	△ 1,102,664	

令和元年度 収入合計 2,525,813 円

令和元年度 支出合計 1,206,336 円

令和2年度への繰越金 1,319,477 円

同窓会資産

単位:円

一 般 会 計	普通預金	1,319,477
特 別 会 計	定期預金	17,013,477
同 窓 会 会 報 会 計		931,139
合 計		19,264,093

会計収支監査の結果、諸帳簿及び証拠書類等は、適正に処理されていることを認めます

令和2年4月8日

監 事 三村 昌之

監 事 森上 節子

令和元年度 武生高等学校同窓会 会報特別会計収支決算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

会報会計

【 収 入 】

単位:円

項 目	令和元年度予算	令和元年度決算	比較増減	備 考
繰 越 金	1,055,108	1,055,108	0	
R 元 年 度 卒 業 生	472,500	471,000	△ 1,500	1, 500円×314名
新 規 購 読	0	15,000	15,000	1, 500円×10名
雑 収 入	12	10	△ 2	利息
合 計	1,527,620	1,541,118	13,498	

【 支 出 】

項 目	令和元年度予算	令和元年度決算	比較増減	備 考
会 報 発 行 費	350,000	308,863	△ 41,137	国府印刷(120,340円)、サラト(188,523円)
積 立 金	0	0	0	*今年度、特別会計への積み立ては一般会計より行いました
池田分校閉校記念事業費	300,000	300,000	0	閉校記念誌代
残高証明発行手数料	514	514	0	振替口座残高証明
予 備 費	877,106	602	△ 876,504	払込取扱票への印字サービス代(ゆうちょ)
合 計	1,527,620	609,979	△ 917,641	

令和元年度 収入合計 1, 541, 118 円

令和元年度 支出合計 609, 979 円

令和2年度への繰越金 931, 139 円

《内訳》

普 通 預 金 842,567 円

振 替 口 座 88,572 円

931,139 円

令和 2 年度 事 業 計 画

令和 2 年

4 月 8 日 (水)	会計監査	武生高校 葵講堂 会議室
4 月 17 日 (金)	臨時役員会 第 1 回理事会 (書面決議) 懇親会 (中止)	武生高校 葵講堂 会議室
5 月 22 日 (金)	同窓生講演会 (中止)	
5 月 23 日 (土)	令和 2 年度 同窓会総会 (中止)	
10 月 23 日 (金)	役員会、理事会、懇親会	ホテルクラウンヒルズ武生

令和 3 年

2 月 下旬	同窓会報 発行
3 月 初旬	全日制卒業式 (同窓会入会) 定時制卒業式 (同窓会入会)

各支部総会

石川県支部総会	9 月 26 日 (土)	金沢ニューグランドホテル
関東支部総会	10 月 11 日 (日)	延期
東海支部総会	11 月 7 日 (土)	

令和2年度 武生高等学校同窓会 予 算 書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

一般会計

【 収 入 】

単位：円

項 目	令和2年度予算	備 考
繰 越 金	1,319,477	前年度繰越金
入 会 金	1,083,000	全日316, 定時45 (1名3千円)
雑 収 入	23	利息等
合 計	2,402,500	

【 支 出 】

項 目	令和2年度予算	備 考
会 議 費	150,000	理事会 (4月、10月)
旅 費	340,000	関東・石川・東海支部総会、各支部来福旅費
消 耗 品 費	5,000	事務用品等
通 信 費	150,000	電話料、郵送料、HP 年間維持管理料、インターネット利用料
慶 弔 費	20,000	
事 務 費	20,000	事務手当
支 部 補 助 費	322,500	関東・関西 10 万、石川・東海 5 万 定時 @500
母 校 振 興 費	10,000	武生高校紹介用諸費用
積 立 金	400,000	特別会計 (定期預金) へ
予 備 費	985,000	記念会館補助等
合 計	2,402,500	

※ 款項目の流用は理事会にご一任ください

令和2年度 武生高等学校同窓会 会報特別会計 予算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

会報会計

【 収 入 】

単位：円

項 目	令和2年度予算	備 考
繰 越 金	931,139	前年度繰越金
令和元年度本校卒業生	474,000	1,500円×316名
新 規 購 読	0	
雑 収 入	11	利息
合 計	1,405,150	

【 支 出 】

項 目	令和2年度予算	備 考
会 報 発 行 費	350,000	同窓会会報 印刷、発送代
積 立 金	0	※今年度、特別会計（定期預金）への積み立ては一般会計より行う
残高証明発行手数料	520	振替口座残高証明
予 備 費	1,054,630	
合 計	1,405,150	

※ 款項目の流用は理事会にご一任ください

令和元年度武生高等学校同窓会 役員・理事一覧表

2020/4月現在

役 職	氏 名	卒業年次	役 職	氏 名	卒業年次	役 職	氏 名	卒業年次
新 会 長	◎ 玉 村 一 男	42	理 事	松 井 透	43	理 事	杉 本 正 一	57
副会長	◎ 山 本 宣 子	40	〃	新 森 山 明	43	〃	加 藤 幸 紀	57
副会長	◎ 相木七良右エ門	41	〃	杉 本 はじめ	44	〃	村 上 栄 樹	57
副会長	◎ 上 木 義 晴	45	〃	◎ 笠 原 章	45	〃	帰 山 明 朗	58
副会長	◎ 田 中 大 成	53	〃	栗 塚 俊 夫	46	〃	時 田 和一良	58
新 副会長	◎ 平 山 勝 康	55	〃	藤 木 茂 之	46	〃	宮 本 俊	58
会 計	◎ 井 上 和 治	44	〃	吉 田 津 義	47	〃	坂 野 正 仁	59
監 事	◎ 三 村 昌 之	48	〃	五十嵐 公 二	47	〃	新 平 林 透	59
新 監 事	◎ 松 浦 宏 由	51	〃	宗 近 博 之	47	〃	森 中 裕 信	59
理 事	岸 本 輝 夫	28分	〃	◎ 佐 藤 かよ子	47定	〃	中 村 忠 嗣	60
〃	◎ 堀 婦佐子	30	〃	白 崎 弘 康	48	〃	笹 田 和 子	60
〃	◎ 吉 田 勉	31	〃	奥 山 義 治	49	〃	仲 倉 典 克	61
〃	◎ 鎌 谷 慶 昭	32	〃	加 藤 明 之	49	〃	是 広 憲 一	61
〃	◎ 堀 川 利 彦	32	〃	岡 田 武 廣	50	〃	月 岡 幹 雄	62
〃	小 川 康 子	33	〃	関 孝 夫	50	〃	石 川 純 也	63
〃	◎ 岩 堀 真理子	35	〃	田 中 康 和	50	〃	武 藤 英 樹	63
〃	◎ 山 田 洋 三	35	〃	加 藤 団 秀	51	〃	渡 辺 和桂子	63
〃	◎ 河 合 敏 一	36	〃	河 嶋 衛	51	〃	柴 田 吉 信	H01
〃	◎ 香 川 克 子	37	〃	賀 川 典 明	52	〃	西 出 博 俊	H01
〃	齊 藤 敏 機	37	〃	長谷川 和 弘	53	〃	高 野 祐 一	H01
〃	山本 仁左衛門	37	〃	脇 田 昇 治	53	〃	塩 田 憲 康	H02
〃	西 山 克 美	38	〃	上 野 浩 一	54	〃	藤 井 信太郎	H02
〃	谷 尾 清 隆	39	〃	野 田 義 弘	54	〃	宮 本 理	H02
〃	笠 島 賢一郎	40	〃	坂 口 順 一	55	〃	新 石 本 郁 夫	H03
〃	上野谷 憲 示	40	〃	奈 良 俊 幸	56	〃	新 塚 崎 嘉 彦	H04
〃	石 田 正 人	41	〃	萬 谷 宏 治	56	〃	新 土 田 康 博	H04
〃	清 水 花 子	41	〃	吉 村 文 男	56	〃	新 中 野 嘉 昭	H05
〃	宇 野 一 右	42	◎は常任理事			〃	新 門 口 正 人	H05
〃	笹 川 信 一	42						

各支部

顧 問

事務局

	氏 名	卒業年次		氏 名	卒業年次		氏 名	卒業年次
関 東 支 部 長	◎ 小 倉 征 彦	37	前 会 長	新 三田村 俊 文	31	書記会計	山 本 真 司	56
関 西 支 部 長	◎ 三 好 規 雄	41	学 校 長	田 中 宏 明		調 査	新 片 山 博 之	
石 川 県 支 部 長	◎ 江 端 義 幸	44	教頭（全日制）	川 内 邦 央		調 査	水 嶋 勝 彦	56
東 海 支 部 長	◎ 馬 場 文 雄	42	教頭（定時制）	諸 江 克 昭		調 査	服 部 英一郎	60
◎は常任理事						調 査	宇 野 智 子	62
						調 査	新 竹 内 健	62
						会 計	フェルナンデス真由美	

校内理事

分 担	氏 名	卒業年次	分 担	氏 名	卒業年次	分 担	氏 名	卒業年次
調 査	盛 高 宏 嗣	52	調 査	上 木 俊 哉	61	調 査	杗 村 恵 美	H03
〃	伊 藤 正 隆	53	〃	木 原 文 一	62	〃	田 中 寛 人	H04
〃	佐 野 幸 一	53	〃	野 村 晶 彦	62	〃	辻 崎 千 尋	H06
〃	中 野 守	54	〃	林 昭 彦	62	〃	吉 村 満 美	H07
〃	林 亨	56	〃	新 宗 近 浩 憲	63	〃	野 村 幸 史	H10
〃	酒 井 哲 弥	57	〃	新 三田村 正 伸	H01	〃	板 垣 洋 美	H11
〃	大 辻 由美子	58	〃	松 村 剛	H02	〃	福 島 健一郎	H14
〃	辻 川 広 也	58	〃	塚 崎 覚	H02	〃	新 田 中 里 奈	H16
〃	伊 藤 裕 貴	61	〃	西 口 佳 光	H03	〃	橋 本 洋 平	H18

武生高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は福井県立武生高等学校同窓会と称する。
- 第2条 本会の事務局は福井県立武生高等学校内に置く。
- 第3条 本会は地域あるいは職域ごとに支部を設けることができる。

第2章 目的及び事業

- 第4条 本会は会員相互の親睦をはかり、併せて母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第5条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 会員名簿及び会報の発行
 2. 母校の教育向上のための協力
 3. その他前条の目的を達成するための事業

第3章 会 員

- 第6条 本会の会員は正会員と特別会員の2種からなり、それぞれに該当するものは下記のとおりである。
- 正 会 員
1. 旧武生中学校の卒業生
 2. 旧武生高等女学校と旧町立武生高等女学校の卒業生
 3. 旧武生高等学校併設中学校の卒業生
 4. 武生高等学校の卒業生
 5. 前各項に掲げる学校に在学した者で、本会の承認をえた者
- 特別会員
1. 旧武生中学校の職員
 2. 旧武生高等女学校と旧町立武生高等女学校の職員
 3. 旧武生高等学校併設中学校の職員
 4. 武生高等学校の旧職員及び現職員

第4章 役員及び顧問

- 第7条 本会に次の役員を置く。
1. 会 長 1名
 2. 副 会 長 5名
 3. 常任理事 若干名
 4. 理 事 若干名
 5. 会 計 1名
 6. 監 事 2名
 7. 顧 問 若干名
- 第8条 役員の選任は次の通り行う。
1. 会長、副会長は正会員の中から総会で選出する。
 2. 常任理事は理事の中から卒業年次を考慮して選び、また分校と定時制の理事を含めて会長が委嘱する。
 3. 理事は卒業年次ごとに1～2名を会長が委嘱し、また会長が特別に委嘱することもできる。
 4. 監事は理事の中から会長が委嘱する。
 5. 顧問は理事会、総会の承認を得て会長が委嘱する。ただし、武生高等学校長及び教頭は顧問に就任する。

- 第9条
1. 会長は本会を代表し、会務を統轄する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。また会務（財務、総会、会報、名簿など）に分担して参与する。
 3. 常任理事は会長、副会長を補佐して、事業の立案や運営にあたる。
 4. 理事は本会の事業の立案や実行に参与する。
 5. 監事は会計及び資産状況を監査する。
 6. 顧問は会長の諮問に応じ、本会の運営に参与する。
- 第10条 役員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。

第5章 会 議

- 第11条 本会の会議を分けて、総会、理事会、常任理事会とし、いずれも会長がこれを招集する。
- 第12条 総会は本会の最高決議機関で毎年1回開催する。ただし、会長が必要と認めたときは臨時に開くことができる。司会は出席者の中から選ぶ。
- 第13条 総会で審議する事項は、次の通りである。
1. 会長、副会長の選出
 2. 常任理事・理事・会計及び監事・顧問の承認
 3. 決算及び会務・事業報告
 4. 予算案及び事業計画案
 5. その他必要な事項
- 第14条 議決は出席者の過半数の賛成を必要とする。
- 第15条 理事会は会長が必要と認めたときに開催する。ただし理事総数の3分の1以上の出席者がいなければ成立しない。理事会の審議事項は、次の通りである。
1. 総会に付議すべき事項
 2. その他の必要な事項

第6章 会計および資産

- 第16条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第17条 本会の経費は入会金、寄付金等をもってこれに充てる。ただし会報の発行については、会報購読料を徴収してこれに充てる。
- 第18条 本会の入会金は3,000円とする。
- 第19条 本会の基本資産は、総会の承認をえずに消費し、また担保に共してはならない。

第7章 会則の変更

- 第20条 本会則は理事会の承認を経て、総会の議決をえれば改正することができる。

第8章 補 則

- 第21条 本会則は平成6年4月1日に改正し、即日これを施行する。

2020年度 武生高等学校同窓会総会実行委員会（昭和58年卒業）

実 行 委 員 長		宮本 俊③		
副 実 行 委 員 長		奥山 茂夫①：総務・会計 渡辺 統⑦：合同クラス会		帰山 明朗③：企画・運営 時田和一良③：広告・協賛
監 事		前田 英之①：会計		辻川 広也⑥：運営
事 務 局 長		吉川 由起⑤		
会 計 長		藤井 俊治⑥		
企 画・運 営 担 当 役 員		加藤 昌徳①	伊勢 英二(三好)②	岡本 圭子(林)②
合 同 ク ラ ス 会 担 当 部 長		宮本弥寿子②	幸明 礼子(林)②	野村 明広③
広 告・協 賛 金 担 当 部 長		片岡 久和⑨	若宮 浩一⑨	
ク ラ ス 委 員	1組	◎坂下 博行 大久保雅一		宮田 直人 幸道 智美
	2組	◎小川 卓郎 高橋かほる(赤尾)		林 逸子(向井) 田端 京子(吉村)
	3組	◎田中 岳志 五十嵐千蓉実(伊藤) 谷口 広行 梶谷 由女(山本)		吉村 睦(落井) 宮本 純子(坂上) 幸道恵美子(中村) 梶谷 敏 瀬戸川聖一(五十嵐)
	4組	◎川渕 敦子(田辺) 坪田 夕季(中西) 田中 祐子(吉田)		五十嵐博美 加藤 尚子(福田) 宮下美智代(竹内)
	5組	◎佐々木久美子(高井) 落井 聡美 久木 秀美(勝見)		武永 浩美(山口) 仲下 緑(松浦)
	6組	◎与力 康範 梅田 尚二		
	7組	◎内田 達男 大橋周一郎 長田 千葉(山田)		下村 昭夫 下村 順子(馬場) 吉村 信彦
	8組	◎林 敬久 道屋 浩之		山田 博文
	9組	◎渡辺 和夫 伊原千恵子(森崎)		島田 浩子(浜谷)
	10組	◎村田 竹浩 高松 一彦		笠島 弘幸 増田 幹雄
講 演 講 師	松澤 巧①：講演予定者		武内 裕嗣⑧：ようこそ先輩講演予定者	

※ 順不同 ◎はクラス委員長 ()内は旧姓